

# 新時代

視覚障害に関する研究と情報



1975年 第4号 No. 27

この子らとともに 毎日新聞社点字毎日編

盲学校教師の実践記録集

定価 500 円（送料別 115 円）

NHK編 働く盲人たち

15 人の実例と盲人の職業についての分析

定価 800 円（送料別 160 円）

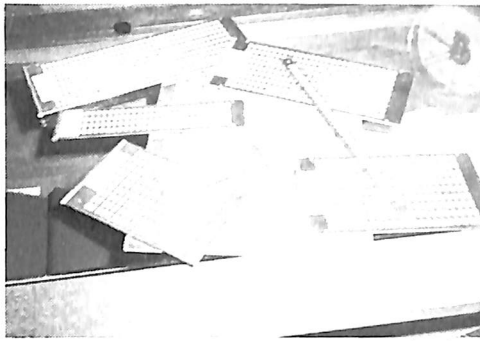
## 盲人用具 (2)

### 欧米の盲人用具



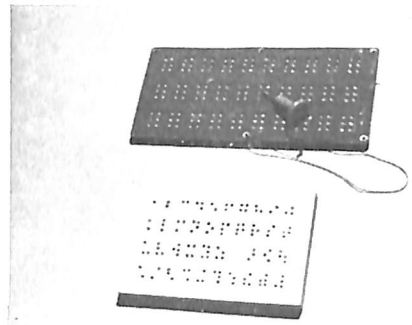
アメリカ (AFB)

電子計算機には、この写真のもののほか、10マス以上の点字が表示されるスウェーデン製やフランス製があり、TSI(アメリカ)のものは、入出力(計算の過程と答え)が音声で知らされる。



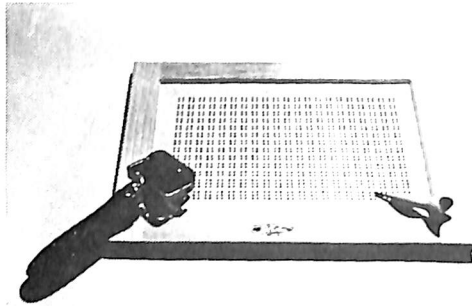
ドイツ

各種点字器。下板の凹点が四角錐になっている。



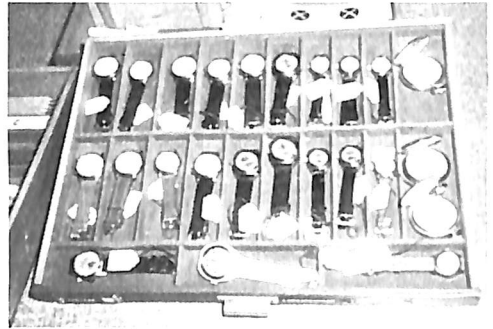
ドイツ

点字学習具。30マス分の点字用ヒン（凹点）を点筆で突く。下はアルファベット。



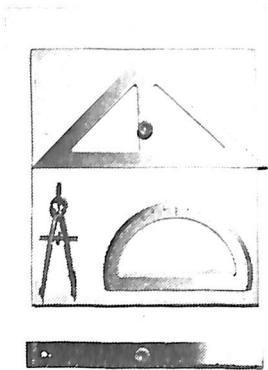
ドイツ

点字計算板。点字用ヒン（凸点）を凹の点筆で突く。11行目までは4点で数字用。計算した後はローラーでならす。



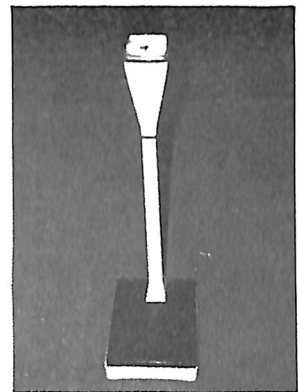
スイス

各種時計。手前中央は弱視者用



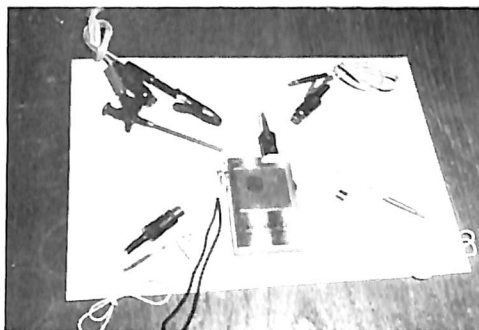
ドイツ

製図用具一式。（定規各種、コンパス、作図用ゴムフレート。）



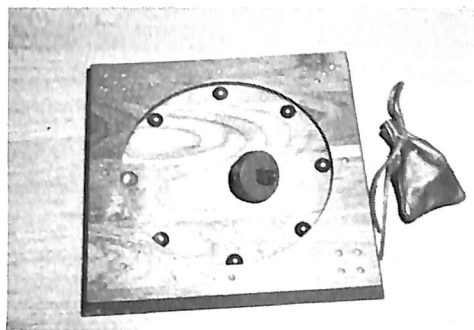
アメリカ

体重計



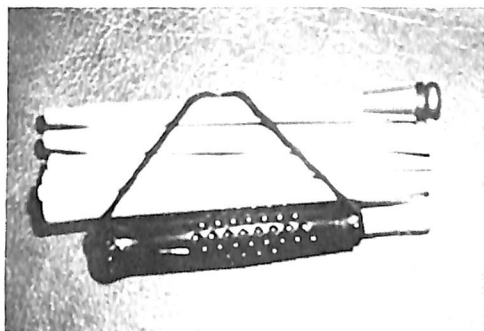
ドイツ

フループ 明暗、水位、シーラ下線の断線の有無などを音で知らせる



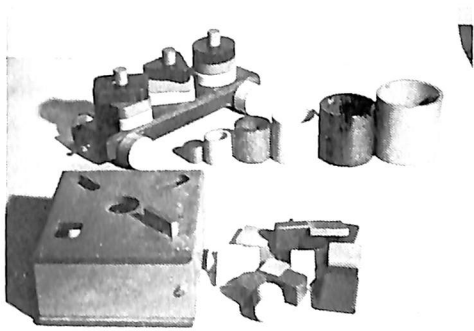
デンマーク

木製ゲーム。6個の木玉をコマではじき、端の穴に入れ、得点を競う。



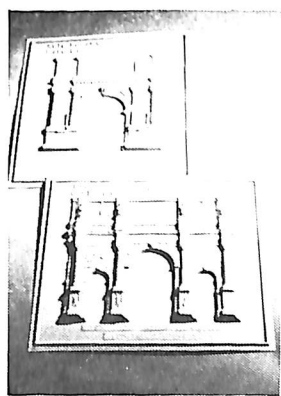
アメリカ

9つ折りのロングケーシング アルミ製で、中のゴムは2本 伸ばす時の力は極めて強い。



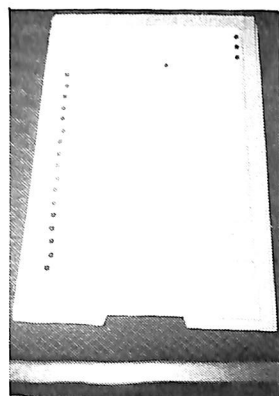
スイス

触覚教材。全て木製で手に触れた感じが良い



イタリア

凸図 ローマ市内にある遺跡や廃墟の凸図シリーズ (90余枚1組)の一部。



スウェーデン

墨字用下敷。各行の仕切りはビニール線。ビーズはマージン用ガイド。

## 売 店

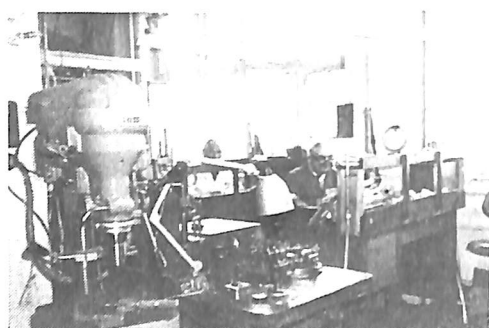


オスロ（ノルウェー）

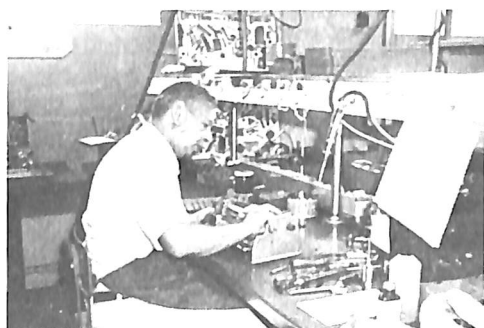


ハノーバー（ドイツ）

## 製 作 所



RNIB（イギリス）



ハウフレス（アメリカ）

欧米の一般の家庭では、生活水準の物差しとも言うべきピアノ、カメラ、ステレオ、自動車など、日本製品が多く使われ、製品の評価も高い。盲人用器具でも、ヨーロッパの貨幣が強すぎるため、最近では、時計やカセットレコーダーが、スイス製やドイツ製から日本製に代りつつある。これらは、外国の盲人福祉施設からの大口の注文を受けて、日本の一流メーカーが作るためだ。日本は狙われている。

ところで、世界の盲人用具は、市販品を含めると、約2,000種類はある、と言われる。これらは、ほとんどが、欧米で作られたものだ。たとえば、盲人用の時計。スイスには45種類、アメリカに23種類ある。日本には、3種類しかない。他の用具も、日本点字図書館用具部には、150種類しかない。

日本の盲人用具事業を盛んにするためには、何が、欠けているのだろうか？

写真と文・日本点字図書館用具部長 花島 弘

# 目 次

1975年 第4号 №27

---

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 2 ページ評論 盲人の職業について考える……………松本 征二…    | 2  |
| コンピューター・プログラマーの養成……………辻 内 弘…       | 4  |
| 国立リハビリテーションセンターに期待するもの…北村 好男…      | 14 |
| 施設紹介 七沢ライトホームを訪ねて……………             | 22 |
| 盲人のための日曜大工の手引き (1)……………ピーター・ジョーンズ… | 26 |
| この人 生井良一さん……………                    | 32 |
| インフォメーションコーナー……………                 | 35 |
| 質問に答えて……………                        | 39 |
| オプタコン・超音波めがね・声の出る計算機……………永田 三郎…    | 45 |
| 内外文献紹介……………                        | 51 |
| 編集後記……………                          | 55 |

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には  
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター  
までお問い合わせください。

## 編 集 後 記

7月25日名古屋で、本誌の発行元・日本盲人福祉研究会の総会が開かれ、本誌発行にともなう特別会計の決算が承認されました。決算書を見ますと、印刷費、郵送料、原稿料など欠くことのできない基本的な経費だけで、すでに購読料をこえています。具体的な数字をあげると、購読料1,500円に対し、印刷費1,090円、郵送料240円、原稿料250円となっており、その他点字版は、印刷製本費だけで年間1人あたり1,300円の赤字、その赤字分や編集・発行にともなう事務費、アルバイト料、通信費、宣伝費などは助成金と広告掲載料に頼っている実状です。幸い昨年度（No.23～No.26）は、赤字にならずにすみましたが、今年度は広告掲載依頼も減っており、郵送料の大幅値上げも予定されているところから全く予断を許さない状態です。

専門家は「発行することに意義があるのだから……」と慰めてくれますが、編集を担当するものとしては収支を安定させるという意味だけでなく、やはり墨字版購読者が一人でも増え、視覚障害を真に理解する人が増えることを期待したいものです。

（田中徹二）

新 時 代      1975年 第4号 No.27  
年間購読料 1,500円（送料とも）

発行日 1975年10月1日

発行者 本 間 一 夫

編集者 田 中 徹 二

発行所 日本盲人福祉研究会

〒532 大阪市淀川区塚本3丁目12番  
6—301

電話 (06) 309—2100

振替口座 大阪 40270

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平2-9-13  
電話 (622) 1925番（代表）

協賛団体      日本点字図書館